

船橋市東簡易マザーズホームにおける自己評価結果（公表）

公表：令和5年3月24日

事業所名：東簡易マザーズホーム

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		
	2	職員の配置数は適切であるか	○		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		今年度は、手洗い場の修繕を実施。適宜、掲示物の整理整頓や、物の配置をシンプルにすることで混雑が生じないように配慮している。今後トイレ内の環境整備を検討していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		活動毎に、清掃、消毒をしている
事業改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		アセスメントシートを導入している
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		評価とともに保護者に対しアンケートを実施し、業務に反映させている
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		評価やアンケートの結果及び、改善の内容を事業所内に掲示、およびホームページで公開している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現状実施していない
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		各種研修へ参加し、自己研鑽に努めている
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		各専門職が分析し、共通認識をした上で作成している
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		心理発達相談時には発達検査を実施している
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		当園で使用している発達支援計画書には「家族支援」や「地域支援」という項目は無いが、必要に応じて備考欄等に記載している
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		定期的にミーティングを行っている
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		保健センターより情報提供を受け、連携を図っている
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		保護者からの情報収集や情報提供書を活用し、連携の強化を図っている
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		主治医意見書を提出していただき、療育提供の際に活用している
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		児童発達支援計画等を利用している
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		引継ぎ書類を作成し、情報共有を行っている
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		必要に応じて情報の共有や連携に努めている。また療育支援課内の施設では部会を設け、定期的に開催している
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	例年は保育園での交流保育に参加しているが、今年度はコロナのため中止であった
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		自立支援協議会障害児部会に出席している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	摂食学習会を実施している。保護者支援を観点とした支援を実施しているが、プログラムとしての提供はないため、必要に応じて今後検討していく
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に照会し、実施している
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		支援計画を提示、説明を行い同意を得ている
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		随時対応している
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会の解散により、定期的な交流がとりにくくなった。保護者同士がコミュニケーションをとれる環境づくり、配慮をしている
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		常時、迅速に対応する様に務めている
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月マザーズだよりを発行している
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		保管時は施錠している
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	今後の検討課題である

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	<input type="radio"/>		作成しているマニュアルもあるが、一部作成中である 訓練は検討中である
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>		避難訓練を実施している
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	<input type="radio"/>		看護職が保護者から聞き取りを行なっている
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<input type="radio"/>		保護者からの情報収集や主治医意見書を活用している
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>		全職員で共有している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		<input type="radio"/>	基本的には身体拘束は想定されない。 しかし児の安全が保てない場合、保護者の承諾を得て、やむを得ず実施する場合もある。その際は必ずしも支援計画に記載していない